

和歌山県公共工事入札監視委員会第80回定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和3年11月22日(月) 13:30~14:40 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	沖 本 易 子 (委員長) 永 瀬 節 治 (副委員長) 田 上 順 子 辻 原 治 柳 川 正 剛 岩 橋 靖 子	
審議対象期間	令和3年7月1日 ~ 令和3年10月31日	
抽出案件	総件数 2 件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の認定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	1 件	
条件付き 一般競争入札	2 件	
通常指名競争入札	1 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問 別紙のとおり	回 答 別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【入札及び契約手続の実績状況等報告】</p> <p>1. A委員 随意契約理由が「入札者・落札者なし」となっているものがあるが、この場合の入札は1回なのか、2回なのか。</p> <p>2. B委員 高値落札理由に「1回目入札取り止め」とあるが、どのような事情によるものか。</p>	<p>1. この案件では1回目の入札で入札者がなかったため、随意契約を行っている。【事務局】</p> <p>2. 入札公告に不備があったため、適正な入札ができないことから、一度公告を取りやめている。【事務局】</p>
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○山内川砂防工事</p> <p>1. A委員 最低制限価格と調査基準価格とは同じという理解で良いか。</p> <p>2. A委員 応札4者のうち3者が失格となった理由は何か。</p> <p>3. A委員 業者同士が示し合わせている等のおそれは無いか。</p> <p>4. C委員 ランダム係数についての考え方をお教え願いたい。</p>	<p>(発注機関：伊都振興局建設部)</p> <p>1. 原則、予定価格（税抜き）3千万円未満の工事では最低制限価格という言い方をしますが、総合評価の対象になる工事の場合では、調査基準価格という名称となる。</p> <p>2. 1者の入札額は調査基準価格未満であったが、低入札価格調査の意向確認書の提出がなかったことから、失格となっている。 次点以降2者は、両者とも都合により辞退するとの申し出があった。</p> <p>3. そのようには考えていない。</p> <p>4. 工事費等の様々な経費をもとに、ベースとなる金額を算出する。そこに0.9850～1.0150の範囲のランダム係数を掛け合わせて計算している。</p>

意見・質問	回 答
<p>5. B委員</p> <p>本件は若者・女性活躍推進モデル工事であるとのことだが、若者とは、年齢は何歳までであるか。</p> <p>また、このモデル工事は今後も継続して採用されていくものなのか。</p>	<p>5. 若者の定義は、34歳以下としている。また、女性は年齢に関わらず対象としている。</p> <p>今回はモデル工事として、各振興局建設部で2件程度抽出し、実施している。</p> <p>今後については、本年度の結果を踏まえ、試行や実施について検討する予定である。</p> <p>【事務局】</p>
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○日置川すさみ線（日置小橋）道路メンテナンス工事</p> <p>1. D委員</p> <p>資料の工事概要書について、塗装及び部材取替等を施工するものである、とあるが、これは部材取替も作業に含まれるのか。</p> <p>2. C委員</p> <p>この橋はいつ完成したものか</p> <p>3. C委員</p> <p>橋の長寿命化について、どう考えておられるか。</p>	<p>（発注機関：西牟婁振興局建設部）</p> <p>1. 基本的には塗装の塗替であるが、トラスの結節点はボルトで締めており、そのボルトが劣化している物については取替なければならない。このため、部材取替という項目を一部入れている。</p> <p>2. 1955年、昭和30年に建設された橋である。完成から66年が経過している。国が平成8～9年にかけて施工した国道42号のバイパス完成時に、県が管理を引き継いだ橋である。</p> <p>3. 基本的に、和歌山県で管理している橋梁は、5年に1回点検を行い、優先順位を決め、補修等の対応をし長寿命化を図っている。</p> <p>橋梁の寿命については、何年経過したから橋梁を架け替えるという考え方はしていない。橋自体の構造的な側面や、橋が地域で果たす社会的役割の変化、例えば、周辺に新しい橋ができ、橋の利用頻度が変化した等の事情を考慮して判断する。現実には、判断の結果通行止めとしている橋もある。</p>

意見・質問	回 答
<p>4. C委員 本件の橋について、耐震補強は済ませているか。</p> <p>5. E委員 塗装がRC-IとRC-Ⅲの2種類に分かれているが、その理由は何か。</p>	<p>4. 行っていない。新しい国道42号のバイパスの橋梁があるため、耐震化する必要はないと判断している。</p> <p>5. RC-Iの塗装系は、トラスの鉄の部分について、錆や汚れを可能な限り落とし、スプレーで塗替る仕様である。</p> <p>RC-Ⅲの塗装系は、転落防止の高欄の部分について、表面の錆だけ落とし、刷毛で塗替る仕様である。</p> <p>コスト的にⅢの方が安く済む。</p>
<p>【意見交換会】</p> <p>下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 公共工事動向について</p> <p>2. 最低制限価格及び調査基準価格についての補足説明</p>	